

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成20年5月1日 (2008.5.1)

【公表番号】特表2003-531965(P2003-531965A)

【公表日】平成15年10月28日 (2003.10.28)

【出願番号】特願2001-580443(P2001-580443)

【国際特許分類】

C 2 2 B 26/22 (2006.01)

B 2 2 D 21/04 (2006.01)

C 2 2 B 9/02 (2006.01)

C 2 3 C 8/06 (2006.01)

C 2 3 C 26/00 (2006.01)

【F I】

C 2 2 B 26/22

B 2 2 D 21/04 B

C 2 2 B 9/02

C 2 3 C 8/06

C 2 3 C 26/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月4日 (2008.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 溶融マグネシウムを空気中の酸素との反応から保護するために溶融マグネシウムを処理する方法であって、
溶融マグネシウムを提供して、該マグネシウムをペルフルオロケトン、ハイドロフルオロケトン、およびこれらの混合物から成る群より選択されるフルオロカーボンを含むガス状混合物に露出させること
を含む溶融マグネシウムを処理する方法。

【請求項 2】 露出表面を含んでなる溶融マグネシウムを空気中の酸素との反応から保護するための方法であって、

(a) 溶融マグネシウムを提供すること、

(b) 該マグネシウムを、ペルフルオロケトン、ハイドロフルオロケトン、およびこれらの混合物から成る群より選択されるフルオロカーボンを含むガス状混合物と接触させること、および

(c) 該マグネシウムの表面に膜を形成すること

を含む、溶融マグネシウムを空気中の酸素との反応から保護するための方法。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 記載の方法に従って空気中の酸素と反応することから保護された溶融マグネシウム。

【請求項 4】 その表面に保護膜が形成される溶融マグネシウムであって、前記膜が、該マグネシウムと、ペルフルオロケトン、ハイドロフルオロケトン、およびこれらの混合物から成る群より選択されるフルオロカーボンを含むガス状混合物との反応によって形成される、溶融マグネシウム。

【請求項 5】 マグネシウムの表面で火を消す方法であって、ペルフルオロケトン、ハイドロフルオロケトン、およびこれらの混合物から成る群より選択されるフルオロカー

ボンを含有するガス状混合物を前記表面に接触させることを含む、マグネシウムの表面で火を消す方法。